

# ラグビー部花園県予選優勝！ 全国大会出場決定！！



題字 津田 佳奈子 さん(河内中出身 書道部一年)

# 西高新聞

発行  
熊本西高校総務部  
第 58 号

# 12 月号

11月23日(金)に行われた全国高等学校ラグビーフットボール大会熊本県予選決勝戦で、本校ラグビー部が2年連続優勝を果たし、花園への切符を手に入れました。1回戦は下記の日程で開催されます。皆さん応援よろしくお願いいたします！

**日時:12月27日(木)午後1時20分～**

**場所:東大阪市花園ラグビー場 第二グラウンド**



## 春の甲子園「21世紀枠」

本校野球部は、9月18日の1回戦から始まった秋の県大会で勝ち上がり、準決勝戦では熊本工業に接戦で勝ち、初の決勝進出を果たしました。決勝戦では国府に9対11で敗退しましたが、地元開催の九州大会に初出場しました。初戦で佐賀県1位校の佐賀学園に勝利しましたが、準々決勝戦では日章学園(宮崎県1位校)に破れ、春のセンバツ甲子園出場の目安となるベスト4進出は逃してしまいました。



しかし新チーム結成後、努力と改革を地道に重ねた成果が報われて、この時期に公式戦を8試合戦えたことや熊本・九州の強豪校と対戦して甲子園までの距離感が少し掴めたことは大きな経験と自信に繋がりました。また、今秋の結果と、地域清掃や野球の普及活動などのこれまでの取組が評価され、センバツ「21世紀枠」全国9地区代表候補校として決定しました。これは選手・マネージャー合計45名だけでなく、学校、保護者、OB、そして地域の方々すべてで勝ち取ったものだとし誇りに感じています。これを励みに、チームは前へ進んでいきます。大会を通じて何度も球場に足を運んで応援していただき、本当にありがとうございました。この場をお借りして御礼を申し上げます。

野球部顧問 上田謙吾、元村峻吾、横手文彦

## 生徒会企画ボランティア「おにぎりアクション」

生徒会企画として「おにぎりアクション」を行いました。これは「Table for two」という特定非営利活動法人の主催する活動です。おにぎりを食べている写真やイラストなど、おにぎりに関する写真を送ることで、開発途上国の子どもたちに給食を届けることができます。全校生徒の協力で502枚の写真を送ることができ、2510食分の給食を届けることができました。



## 特進クラス大学訪問

12月11日(火)、2年特進クラス80名が北九州市立大学北方キャンパスを訪問しました。模擬講義やコミュニケーションワークショップに参加しました。

生徒は「模擬講義の内容が印象的だった」、「大学生と話し合う中でぜひここで学びたいと思った」、「学食は安くて、とても満足だった」などの感想を持ち、



将来の進路を考える充実した一日となりました。

# ST川元の Let's enjoy English! season3

## 年末にあたり

今年ももう12月。西高新聞も本年度最終号となりました。このコーナーではこれまで、英語の勉強の仕方や上達のコツ、英語関連のイベントなどを紹介してきました。これを読んでいただいた皆さんが少しでも英語に興味を持っていただき、英語学習のモチベーションアップにつながればうれしく思います。今西高では、3年生が大学入試に向けて受験勉強に必死に取り組んでいます。英語部の部員は1月末に行われる英語スキットコン

テストに向けて、練習を始めています。来年留学をしようと準備を始めている生徒もいます。英語は以前も述べたとおり、「受験ツール」であり「コミュニケーションツール」であり、そして「ライフツール」でもあります。日本は急速なグローバル化の波の中にあり、社会における英語の必要性は益々高まるでしょう。これからもそのような社会に対応できる人材育成に励んでいきます。来年もよろしくお願いいたします。



## 熊本西高の副校長、北原政典先生をご紹介します。

熊本西高でのお勤めが長いとお聞きしていますか？

昭和63年度～平成10年度まで事務職員として11年間、平成27年度～平成30年度まで副校長として4年間、合計で15年間です。早いもので来年3月で定年退職です。

どんなことが思い出に残っていますか？

現在の体育館建築に設計の段階から関わることができました。当時は、県・学校・設計事務所とで会議を持ち、学校の意見を取り入れてくれました。おかげで、県内一使用しやすい体育館になったと思っています。

初めてラグビー部が全国大会に出場したときは現地費用を持って選手団に帯同しました。昨年度6年ぶりに全国大会出場を決めたときは本当に嬉しかったですね。

昔と今の西高生で違いはありますか？

挨拶が素晴らしく、高校生らしい清々しさ、素直さが西高生の持ち味です。今も昔も変わりません。

西高生、また地域の方々にメッセージをお願いします。

西高生には、素直に努力して自分の人生を切り開いて行って欲しいと思います。時代は変化しています。これからどうなるのか予想がつかえません。そんな時代を生き抜くためには**努力し続ける力**が絶対に必要です。短期の努力が実らなかったとしても気にすることはありません。

## あつあつ熱ティー

長いスパンで見ると必ずや努力は実ります。高校時代に良い習慣、良い人格を身につけてください。人生は高校卒業後が長いのです。

地域の方々にはいつもお世話になっております。近所の学校として、小学校のように気軽に立ち寄り、話題にさせていただければいいなあと思います。

先生にとって西高とは？

私の在職期間の4割は西高勤務でした。西高は親のようであり、子どものようでもあります。西高の今後を、期待を持って見守っていきたいと思います。



北原政典 副校長先生

「西高は子どものよう」とおっしゃる北原副校長先生。お話を伺っていて、西高への愛情が伝わってきました。西高生、この気持ちをしっかりと受け止めよう！



題「DAYDREAMLANDSCAPE」

木島 裕生(三角中出身 美術部2年)

夢に出てきてほしいような蜜柑の星を描いてみました。(ドライポイント作品)

## 美術部の作品集

今年度も西高新聞をご愛読いただき、ありがとうございました。1月には号外を出すことが決まりました。ラグビー部の花園での活躍をお届けします。今後とも西高をよろしくお願ひします。  
(編集担当責任者より)